

発表スケジュール

13:00 開会式

●発表 表 (Aブロック) 13:15~14:30

研究発表

- 13:15~13:30 指定管理者団体における野外活動事業の申込状況の推移 (高荷英久)
13:30~13:45 組織キャンプが参加者の環境リテラシーに及ぼす効果と要因の関連 (岡田成弘)
13:45~14:00 ロールレタリングを用いたスタッフトレーニングプログラムの開発 (田中誠一)
14:00~14:15 中国における野外専門運動基地の現状~天津市山野運動基地~ (范 超)

14:15~14:30 <全体討議>

実践報告

- 13:15~13:35 組織キャンプにおける儀式プログラムの意義と役割
-米国キャンプ・オーアトカにおける騎士道プログラム- (高橋 伸)
13:35~13:55 病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを
~医療設備を備えた日本初のキャンプ場開設に向けて、そらぶちキッズキャンプの取り組み~ (本多貴子)
13:55~14:15 休止スキー場を活用したキャンプの試み-白山市アドベンチャーキャンプの実践から- (東 雅宏)

14:15~14:30 <全体討議>

休憩 14:30~14:45

●発表 表 (Bブロック) 14:45~16:00

研究発表

- 14:45~15:00 冒険キャンプにおけるキャンプ場面でのふりかえり体験の調査 (荒木恵理)
15:00~15:15 長期キャンプ参加者と指導者の内面的成長について考える (1) (遠藤知里)
15:15~15:30 体験がもたらす教育的効果 (川野正雄)
15:30~15:45 幼児とその保護者における自然体験の現状~子どもの育つ環境による自然体験の違い~ (眞野恵委子)

15:45~16:00 <全体討議>

実践報告

- 14:45~15:05 実地踏査等を重視し当事者意識を重視した養成プログラムで指導者になることの意義-その1 (中島由賀)
15:05~15:25 教員・保育者を指す女子大学生を対象としたチャレンジキャンプの実践報告 (西島大祐)
15:25~15:45 活動の質を高めるチャレンジとリラクスの落差の追求
-日常生活に「持ち帰り・般化・敷衍・思い出し」可能なキャンプでの身体感覚・技法- (倉品康夫)

15:45~16:00 <全体討議>

休憩 16:00~16:15

●ポスター発表 16:15~17:15

- ・週末を活用した親子キャンプの試み~スケートキャンプの実践報告~ (針ヶ谷雅子)
- ・「スノーシューを履いて雪の原野での自然観察会」実践報告 (松岡 徹)
- ・実地踏査等を重視し当事者意識を重視した養成プログラムで指導者になることの意義-その2 (中島由賀)
- ・静岡県立朝霧野外活動センター利用団体の教育的効果に関する調査-1年目結果報告- (白木賢信)
- ・Means-End Analysis を用いたキャンプ効果の要因の検討 (岡村泰斗)
- ・子育て支援としての「ママチルキャンプ」8年間の経緯と継続上の課題 (高野千春)
- ・小学校長期自然体験活動の効果とその要因~鹿沼市自然体験交流センターを事例として~ (向後佑香)
- ・幼児キャンプにおけるイラストを用いた健康管理の試み (川村協平)

●ワークショップ 13:15~16:00 講師:岡村泰斗 「キャンプのあしあと・実践編~実践報告の作成からプレゼンテーションまで~」

●全体会 17:30~19:00 テーマ「みんなでつくるあしたのキャンプ~安全管理編~」 進行:林 綾子 進行補助:甲斐知彦

●懇親会 (自由参加) 19:15~20:30 国際交流棟・レセプションホール

※発表の時間割については変更になる可能性があります。